

報道関係各位

2020年5月29日

## LIXILグループ 2020年3月期決算(IFRS) 事業利益は7.5%増、「ニューノーマル」を見据えた対応を強化

- 上期の好調な業績とPermasteelisaの損失縮小により、最終利益は647億円増
- 2021年3月期業績予想は、新型コロナウイルスの影響を見極めるため、公表を延期

株式会社 LIXIL グループ（以下 LIXIL グループ）は本日、2020年3月期通期（2019年4月－2020年3月）の決算<sup>※1</sup>を発表しました。2020年3月期通期は、安定した売上収益を維持し、増益となりました。

### LIXIL グループ 社長兼 CEO 瀬戸欣哉のコメント

「2020年3月期は、上期業績が好調に推移したのに加え、グループ全体において様々な変革を推進し、通期においても、堅調な業績を達成することができました。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大が深刻な影響を及ぼす中、現時点で先行きを見通すのは難しい状況にありますが、当社では、従業員をはじめとするステークホルダーの安全確保を最優先に、迅速な対応を行ってきました。一部施設については、一時的に閉鎖しましたが、グローバルなサプライチェーンを活用することで、世界のお客さまに商品を継続的に提供する体制を構築しています。

この結果、2020年3月期の売上収益は業績予想と同水準となり、事業利益は LIXIL Housing Technology（LHT）における生産効率改善等により増加し、主に Permasteelisa の損失縮小を受けて最終利益も黒字化しました。加えて、中期計画を実行し、持続的な成長に向けた競争力の強化に向けて、より機動的な事業運営体制を構築するとともに、従業員に焦点を当てた施策を通じて変革を推進してきました。

当社だけでなく、世界のあらゆる産業において、ニューノーマル（新しい日常）への転換が求められています。デジタル技術を活用し、より柔軟な働き方を可能とするなど、当社では様々な対策を講じてきました。一方で、タッチレス水栓のような健康や衛生面に焦点を当てた商品や、IoT 技術を導入したスマート宅配ポストに対する需要が高まっており、長期的にもエンドユーザーのニーズが変化していくと考えられます。当社は、世界中の人びとにより豊かで快適な住まいと暮らしを実現することを目指しており、ニューノーマルを見据え、エンドユーザーに長期的な価値を提供できるよう、取り組みを強化してまいります」

### ➤ 決算の概要

#### 売上収益

2020年3月期の売上収益（通期累計）は、前年同期比 0.1%増の 1 兆 6,944 億円となりました。国内事業については、住宅建材事業の LIXIL Housing Technology（LHT）、水まわり事業の LIXIL Water Technology（LWT）、および流通・小売事業（D&R）が増収に貢献し、上期の好調な売上が、下期の消費税増税後の反動減や COVID-19 の影響による需要減を補い、前年同期比 0.6%増の 1 兆 3,231 億円となりました。

LIXIL International が展開する海外事業の売上収益は、前年同期比 2.5%減の 3,986 億円でしたが、為替の影響を除く現地通貨ベースでは、前年同期比 1.2%増となりました。欧州・中東・アフリカ（EMEA）地域や中国は増収となり、北米は横ばい、東南アジア地域では減収となりました。

## 事業利益<sup>※2</sup>

前期の事業利益は、前年同期比 7.5%増の 586 億円となりました。国内従業員を対象としたキャリアオプション制度実施に伴う費用を計上したものの、事業効率の改善を受け、この影響を除いた事業利益は前年同期比 17.7%増の 641 億円となりました。

国内事業については、上期の好調な業績に加え、LHT の価格改定効果や、プラットフォーム化推進等による生産効率の改善によって増益を達成しました。海外事業に関しては、北米で売価改善や販管費低減を図る継続的な取り組みが奏功し、欧州や中国でも売上が好調だったことから、東南アジア以外のすべての地域で増益となりました。

## 最終利益<sup>※3</sup>

最終利益は、前年同期比 647 億円増となる 125 億円でした。COVID-19 の対応関連費用を計上しましたが、事業利益の増加に加え、Permasteelisa の損失縮小に伴い、黒字化を達成しました。

## 2021 年 3 月期通期業績予想

COVID-19 の感染拡大による影響が続いており、現段階では先行きが不透明であることから、2021 年 3 月期連結業績予想の公表は延期いたします。

### ➤ 2020 年 3 月期 事業ハイライト

LIXIL グループは、起業家精神にあふれ、持続的な成長を通じて社会に貢献できる組織の構築を目指し、中期計画の 4 つの柱に基づいた主要施策を着実に推進してきました。

- **事業ポートフォリオの見直し**

株式会社建デポ（2019 年 6 月）、株式会社シニアライフカンパニー（2019 年 9 月）、株式会社 LIXIL 鈴木シャッター（2019 年 9 月）と、子会社および関連会社の株式譲渡を完了し、2020 年 5 月には Permasteelisa の売却を発表しました。これは、基幹事業である水まわりおよび住宅建材事業へのさらなる注力を図り、グループの統合強化によるシナジーの最大化や効率化を目指す取り組み一環です。また、バランスシートの強化、キャッシュフローの改善や債務削減、運転資本効率の改善により、財務基盤の強化を図ることができ、基幹事業において収益性の高い成長分野にさらなる投資を行うことが可能となります。

- **機動的な組織の構築**

LIXIL グループと株式会社 LIXIL との合併を今年 12 月に行うことを決定し、現行の持株会社制度から、事業会社として業務運営を行う体制に移行する予定です。また、国内組織体制の簡素化を行なったのに加え、地域ごとに統括されていた管理部門の指揮命令系統をグローバルで一元化し、レポートラインを本社に集約しました。こうした組織変更は、より迅速な意思決定を可能とし、経営効率を改善することで、機動的な組織を構築するとともに、グループ全体のガバナンス向上を目指したものです。

- **国内事業の活性化**

国内事業の活性化に向けた包括的な人事プログラム「変わらないと、LIXIL」を推進し、実力主義に基づく組織文化への転換を進めています。国内において、顧客志向の徹底や、あらゆる世代のキャリア開発支援、従業員のエンゲージメント強化を目的とした施策を実施してきました。人事施策の一つとして、キャリアオプション制度を導入し、多くの日本企業が直面する従業員の年齢構成の課題にも対応しています。

- **デジタルトランスフォーメーションの加速**

社内コミュニケーションの活性化や組織変革の一環として、様々なデジタルツールの活用を従来から推進してきました。これにより、在宅勤務へのスムーズな移行が可能となり、事業の継続性確保や生産性向上につながりました。また、次世代の住まいと暮らしを支える IoT 製品・サービスの開発を継続するとともに

に、デジタル技術の活用によってショールームでのオンライン接客を実現するなど、商品とサービスの両面から顧客志向を実践しています。

- **差別化された製品・サービスの開発**

社内のデザイン体制を強化するとともに、日本発のグローバルブランドである INAX の海外展開を加速させています。INAX ブランドはミラノデザインウィークに出展し、グローバル市場向けに展開する水まわりの新コレクションを発表しました。同ブランド独自のデザインバリューやシグニチャーエレメント（造形要素）に基づいてデザインされた新商品は、当社が推進するプラットフォーム戦略に基づく生産が可能です。さらに、国際的なデザイン賞の一つである「iF DESIGN AWARD 2020」では、INAX ブランドだけで 15 の賞を受賞しており、デザイン主導の商品開発が評価されています。また、住宅建材の分野においても、富裕層向け市場の開拓に向けて、海外企業との提携や技術協力を推進してきました。

- **事業活動を通じた社会への貢献**

LIXIL グループでは、事業活動を通じた社会貢献を推進しており、環境効率改善に関する目標を 2 年前倒しで達成するなど、環境面の取り組みを強化しました。さらに、国連が推進する持続可能な開発目標 (SDGs) への貢献に向けて、2050 年までの達成を目指したより意欲的な環境ビジョンを設定しました。水まわりの分野でも、開発途上国向け簡易式トイレシステム「SATO」が展開するソーシャルビジネスを通じて、世界で1,860万人の人びとの衛生環境の改善に貢献しました。このような実績が国際的にも高く評価され、当社は世界的な社会的責任投資指標である「Dow Jones Sustainability World Index (DJSI World)」の構成銘柄にも選定されました。

※1 2020年5月1日付で開示の通り、株式譲渡の対象となった Permasteelisa およびその子会社に関連して発生する損益の全てが当第4四半期より「非継続事業」に分類。

※2 IFRS の事業利益は、日本会計基準 (JGAAP) の営業利益に相当。

※3 親会社の所有者に帰属する四半期利益。

#### 本件に関するお問い合わせ先

株式会社 LIXIL グループ (<http://www.lixil.com/jp>)

本社：東京都江東区大島 2-1-1

広報 高田・堺 MP. 080-4076-2510 / TEL. 03-6706-7020

※このリリースは、LIXILグループホームページ (<http://www.lixil.com/jp>) でも発表しています。

## ■ LIXIL について

LIXILは、世界中の誰もが願う豊かで快適な住まいを実現するために、日々の暮らしの課題を解決する先進的なトイレ、お風呂、キッチンなどの水まわり製品と窓、ドア、インテリア、エクステリアなどの建材製品を開発、提供しています。ものづくりの伝統を礎に、INAX、GROHE、American Standard、TOSTEMをはじめとする数々の製品ブランドを通して、世界をリードする技術やイノベーションで、人びとのより良い暮らしに貢献しています。現在約75,000人の従業員を擁し、世界150カ国以上で事業を展開するLIXILは、生活者の視点に立った製品を提供することで、毎日世界で10億人以上の人びとの暮らしを支えています。LIXILなどのブランドを展開する、株式会社LIXILグループ（証券コード: 5938）は、2020年3月期に1兆6,944億円の連結売上高を計上しています。

LIXILについて：[www.lixil.com/jp](http://www.lixil.com/jp)、<https://www.facebook.com/lixilcorporation/>